

藤沢市地域経営戦略 100 人委員会
(第2回)
活動の報告

- ・ 30 年後の藤沢らしさ (まとめシートより)
- ・ 地区・領域別に話し合われたことのまとめ
- ・ 活動の様子 (写真)
- ・ 活動の記録 (模造紙)

「30年後の藤沢らしさ」意見集

「風景」「自慢」「残したいもの」「実現したいこと」「環境」「変化」「未来からのお願い」「継続」「その他（自由テーマ）」をもとにワールド・カフェにより声を集めました。

各グループで記入したまとめのシートの内容をできるだけそのままのジャンル・そのままの形で掲載しています。

(30年後の) 風景

30年後の藤沢にはどんな風景が広がっていますか？

- ・ 海岸がなくなる
- ・ 護岸がコンクリート化
- ・ 長後の商店街の再生
- ・ 御所見の様々な田畑を再利用できるシステムづくり
- ・ 老人の方々のエネルギーを内ではなく外へ向ける仕組み
- ・ 宇宙に飛び出す人が多くなり、高い空から眺めている。
- ・ まちがビルラッシュになっている。
- ・ 子どもが多くなり、まちじゅうが明るくなる。
- ・ 藤沢駅周辺が商業地でなくなる。
- ・ パソコン時代で外出をしない人が増える。
- ・ 電気自動車が走っている。伝統はすべてLEDになる。
- ・ 湘南台地区が藤沢の中心になる。
- ・ エネルギーのベストミックスにより、災害に強いまちができる。
- ・ 電線が地下に入り、地上に緑が増える。
- ・ 各家庭の屋根に太陽光発電がつく。
- ・ 辻堂の海岸線に津波防止の山ができる。

自 慢

30年後の子どもたちに、いまのあなたは、どんなことを自慢したいですか？

- ・ 自然環境（緑あふれる藤沢）
- ・ 近所づきあい（住む人の温かさ）
- ・ 平和がますます感じられる藤沢
- ・ 人づくり（よいまち・道の駅・モノレール）
- ・ 祭り
- ・ 伝統文化・郷土文化
- ・ 湘南の海
- ・ 北部の緑
- ・ 活力ある静かなまち

- ・ 海・野・山の組み合わせ
- ・ 自然がいっぱいある環境
- ・ 史跡が多い・歴史のまち
- ・ 安全・安心都市
- ・ 外来者に対する寛容さ
- ・ やさしい人が多い。
- ・ 地産地消
- ・ 交通の便がよい。

残したい

今の藤沢らしさで、30年後にも残しておきたいものは何ですか？

- ・ 子どもたちの考えを入れてつくった公園
- ・ 江の島の環境（含む植物園）灯台，岩屋，洞穴
- ・ 農地・緑地
- ・ 青い空・青い海
- ・ 文化財（市指定）人形山車
- ・ 辻堂・鵜沼の地引網
- ・ 海浜公園
- ・ オオタカ
- ・ いつでも入れる保育園・幼稚園
- ・ 水族館の大きいもの
- ・ 江の島ナンバー
- ・ 富士山に見える場所
- ・ 自然とみどり（大きな木）
- ・ 季節を感じる空気
- ・ 文化財
- ・ 大庭城跡
- ・ お祭り
- ・ 歴史
- ・ 人と人とのつながり
- ・ 人情
- ・ 鵜沼婦人と鵜沼紳士（礼儀・言葉づかい）
- ・ 芸術・文化的な雰囲気
- ・ 川
- ・ 谷戸（ホタル）
- ・ 農業
- ・ 漁業
- ・ 中小企業
- ・ 街並み
- ・ 小出川の彼岸花

- ・ 鵜沼皇太神宮
- ・ 古民家
- ・ 庭園（邸園）
- ・ 茶室
- ・ 能舞台
- ・ 海・里の自然
- ・ 人の心のふれあい
- ・ 鵜沼の道路の狭さからくる近所の助け合い
- ・ 海の幸
- ・ 田畑
- ・ 市街地と自然，田畑のバランスのよいまちの環境
- ・ 地域活動
- ・ 住民の力，協力関係
- ・ 地域の祭り
- ・ 森・海・里山
- ・ 農業
- ・ きれいな空気
- ・ 農産物
- ・ 畜産物
- ・ 藤沢の名前
- ・ 湘南藤沢の名前
- ・ 歴史・文化・伝統
- ・ 地域の文化
- ・ 地域の祭り
- ・ クリーンな産業
- ・ 海・山・川・島の景観と遊ぶ場所
- ・ 農産物・海産物
- ・ 史跡・古い歴史の建物
- ・ 江ノ電
- ・ 里山の保存（ホタルの里）
- ・ 片瀬の下町的人情・おっとりした気質
- ・ 農業・漁業・産業のバランスのとれたまち
- ・ 歴史・観光資源（ハス池）
- ・ 人材（産・官・学） 40万市民
- ・ 子どもたちのための市民大農園

実現したい

どのようなことを実現してほしいですか？やっけてほしいですか？

- ・ 住民のマニフェストを掲げる。
- ・ 想いを実現できる仕組みをつくる。

- ・ ハードでなくソフトを重視する。
- ・ 老若男女，才能を伸ばし活かせるまち
- ・ ビルは要らない。自然を残す。
- ・ 安全・安心なまち
- ・ 職（生産機能）・住機能のバランスのとれたまち
- ・ 考えを実行していくまち
- ・ 若い世代に子どものことを考える時間
- ・ 生きる・帰る場所
- ・ 「おかえりなさい」のまち
- ・ 仕事は定時に終えて，家に帰る。
- ・ 人材活用
- ・ コミュニティ
- ・ 産学連携
- ・ リゾートホテル
- ・ マーケット
- ・ 農業
- ・ 子育て（保育園）の充実
- ・ 高齢者向けバリアフリーの充実
- ・ 身障者との共生
- ・ 横浜藤沢線
- ・ 湘南モノレールの延伸
- ・ 防犯対策（該当・防犯カメラ）の充実
- ・ 交通安全
- ・ 藤沢駅南口の景観改善（パチンコ・飲食店）
- ・ 湘南台駅の景観改善（パチンコ・飲食店）
- ・ ハードのまちづくり
- ・ 藤沢駅（中心）の大改造
- ・ 安全で使いやすい・走りやすい道路（自転車帯の確保）
- ・ 農業・漁業（第一次産業）
- ・ 教育の方向性
- ・ 自給率の向上
- ・ 中高生との協働・共生
- ・ 障害者・独居老人が安心して暮らせるまち
- ・ 長期の目線の行政～単年度会計はやめる。
- ・ SFC を拠点に文化を発展させたい。
- ・ 経済問題研究所等，世界に誇れる文化拠点がほしい。
- ・ 思いやりのある子どもを育てる環境づくり
- ・ 日本の文化を知る。
- ・ 表情豊かな子どもを増やす。
- ・ 南北格差をなくす。
- ・ 交通の利便性をアップする。

- ・ 学生と商店街がかかわりも持つ、活気あるまちをつくる。
- ・ 自然環境の確保
- ・ 援農ボランティアの育成
- ・ 地産地消の推進
- ・ 飛行機の騒音をなくす。
- ・ 景色を良くしたい。
- ・ 地域のつながりを強くしたい。(学校・家庭・地域)
- ・ 景色などの資源を活かして、市全域で実施され、全国的に有名な祭りを行いたい。
- ・ 騒音・公害をなくしたい。
- ・ 30年後に、次の世代も含め住みたいと思うまちを実現したい。
- ・ 年寄りが楽しく過ごせる居場所を増やしたい。
- ・ 線路等で分断されない交通に配慮したまちづくり
- ・ 健康な高齢者のための施設の増設
- ・ 青少年会館・児童館を藤沢駅周辺の建設
- ・ 藤沢駅に保育・高齢者施設を含んだ駅ビルを建設
- ・ 新しい交通システム (LRT) 等の導入
- ・ 子育て関連施設 (大規模でなくて良い)
- ・ 医療施設の充実
- ・ 道路等交通ネットワークの整備
- ・ 農業の発信 (地産地消)
- ・ 産業 (農・漁・商・産) の活性化と活かせるネットワークづくり
- ・ 新しいまちづくり (村岡新駅)
- ・ 子育て環境の充実による子どもの増加
- ・ 元気老人を増やす。
- ・ 保育と高齢施設の複合化
- ・ 外に出る機会を増やす。
- ・ 子どもを育てやすい環境づくり
- ・ コミュニティバスの運行
- ・ エレベーターの設置
- ・ 南も北も自然を大切にしたい。
- ・ 南は海・砂浜・松林を大切にしたい。
- ・ 北は畑、農業、里山、野菜を大切にしたいが、経済面では厳しい。
- ・ 本物の湘南ブランド (とは何か?)
- ・ 人材育成 (良い先生、良いリーダーの下に良い部下が育つ。)
- ・ ムクドリ対策 (花を植えたり、オープンカフェをつくる。)
- ・ 駅や地域の拠点に老人ホームや保育所をつくり、高齢者や子どもが交流できるようにする。
- ・ 交通網の整備
- ・ 江の島にビジターセンターをつくる。
- ・ 街の景観を守る法律をつくる。
- ・ 特別養護老人ホームの待機者解消

- ・ 放棄田畑をなくす。
- ・ 郵便局の交差点の立体化
- ・ 村岡二天寺からのミニバスの運行
- ・ 村岡新駅の経過，現状分析と課題の公表
- ・ 横浜藤沢線の海岸までの開通

環 境

30年後の藤沢は，どんな環境になっているのでしょうか？

- ・ 環境にやさしいエネルギーを利用するまちをつくる。
- ・ 無駄な道路はつくらず，緑を増やす。
- ・ 騒音の少ないまちをつくる。
- ・ ユニバーサルデザインの生活環境をつくる。
- ・ 過しやすい藤沢を大切にする。
- ・ より住みやすい環境を目指しながらも，活力のある藤沢を目指す。
- ・ ゴミの有料化と資源化を推進してゴミを減量する。
- ・ 心休まるみどりを保ちたい。
- ・ 子どもが安心して遊べるみどりをつくりたい。
- ・ ゴミ・交通・モラル・財政を改善したい。
- ・ 市境問題・南北格差を解消したい。
- ・ 北の開発がクリーン環境・みどりの保全を前提にしたい。
- ・ 自然環境を保存したい。
- ・ 緑を残したい。
- ・ 果樹園を残したい。
- ・ 川と海の水質を保全したい。
- ・ 市街地の緑地（公園等）を確保したい。
- ・ 地産地消を進めたい。
- ・ 交通網を整備したい。
- ・ 幹線道路を立体化したい。
- ・ 新交通システムを採用したい。
- ・ 横浜との間に橋をつくってほしい。
- ・ ゴミ処理で再利用を進める。
- ・ マイカップ・マイボトルの使用を推進する。
- ・ 安全と健康・・・病院の充実・予防
- ・ ごみ収集が無料
- ・ 下水道の整備
- ・ 鮎が獲れる川
- ・ 海がめの名所に
- ・ 緑の保全・公園
- ・ 空からの音が消える（爆音）
- ・ カラス被害をなくす。黄色いゴミ袋を！

- ・ カワセミを見たい！産卵できる場所が必要
- ・ 藤沢メダカ・ホタルを残す。
- ・ 子どもの非行に対して見今盛る環境をつくる。
- ・ 病気の人が少ない。病院の必要のない社会
- ・ 台風のそれるまち
- ・ 暴走族のいないまち
- ・ 落書きのないまち
- ・ 静けさと賑わいのまち
- ・ 子ども・高齢者が安心して歩け、防災にも配慮できる道を
- ・ 自然エネルギーの利用
- ・ 自家ゴミ処理
- ・ エコは当たり前
- ・ 自然は金をかけて保護
- ・ 一戸建てを残したい。
- ・ 木・森・海・川・空気・CO2 に配慮
- ・ 川～魚（アユ・ウナギ）が棲む・泳げる・景観（プレジャーボート）
- ・ 海岸～ゴミ・広域管理
- ・ きれいな街並み
- ・ 南欧風・西欧風な街並みづくり～都市計画で
- ・ 景観～看板・照明・色・高さ・素材
- ・ 市街地はマンションばかり
- ・ 風俗特区になる。
- ・ 緑をどんどん増やす。
- ・ 緑が多くて棲みやすいイメージをつくる。（今も 30 年後も）

変 化

30年後になくなってほしいものは何ですか？

- ・ 電柱がなくなってほしい。
- ・ 交通事故がなくなってほしい。
- ・ 渋滞がなくなってほしい。
- ・ 犯罪がなくなってほしい。
- ・ ホームレスがいなくなる社会になってほしい。
- ・ 心の拠りどころがなくなった。
- ・ 農業従事者を増加させる。
- ・ 地域の要望による地域開発の仕組み
- ・ パチンコ屋
- ・ ゴミ
- ・ 景観を壊すもの
- ・ 過度な都市開発
- ・ 音・騒音

- ・ 交通渋滞
- ・ 閉鎖的な社会に導くもの
- ・ いじめ・差別・偏見
- ・ 見てみぬフリの人間関係
- ・ 貧富の差
- ・ ゴミのポイ捨てをなくしたい。(海をきれいにしたい。)
- ・ 自然保護を主眼とした整理と開発
- ・ 遊休農地の課題
- ・ 荒廃地の課題
- ・ パチンコ屋のネオンの問題
- ・ 電柱の景観・安全性の問題

未来からのお願い

(30年後の気持ちになって) 今の藤沢の人たちにお願いしたいことは？

- ・ 太陽光発電が普及する。
- ・ 河川の浄化
- ・ 屋上緑化
- ・ 安心して子育てができる環境
- ・ ゴミ問題の解消
- ・ 地産地消の推進
- ・ 安全な将来

その他

<30年後も農業！>

- ・ 農産物の価格が安い。
- ・ 藤沢の人は多少高くても地元のものを買いたいが、売られていない。
- ・ 藤沢で農業生産法人を設立する。
- ・ 藤沢に広がる麦畑を実現したい。
- ・ 精米・麺・粉の向上などを充実したい。

<昔は川で泳げた>

- ・ 川から流れるプラゴミは、海で親亀がえさのクラゲと誤飲して死んでしまう。海がめの産卵ができない。

第2回地域経営戦略100人委員会

地区・領域別に話し合われたことのまとめ

第2回地域経営戦略100人委員会において話し合われた、地区別・領域別の課題等について、各グループが記載した心に残ったことや話し合いのまとめを、できるだけ原文のまま掲載したものです。

このグループ討議は、第3回以降の検討の下地とするための共通認識の場として開催したものです。

地区別ワークショップ

六会地区（テーマ：まちづくりの将来像）

- ・ 農業を大切に。今ある農地を残したい。
- ・ 石川丸山谷戸など、自然を大切に残したい。
- ・ 新しいセンターを中心とした地域コミュニティの再構築
- ・ センターは地区の防災拠点である。
- ・ 小田急線で分断されて、踏切は大変不便。六会駅前を再構築、整備して、まちのバリアフリー化を実現する。
- ・ 地域の資源とも言える日大と連携・協力する中で、まちづくりにその力を活かしたい。

長後地区（テーマ：長後のまちづくりの将来像（駅周辺・商店街の活性化）、農作物（地域の地産地消）

- ・ 物理的なこと（道路問題）、長後駅西口の開発によって、住民にメリットはあるのか。
- ・ 開発は、市政・県政の兼ね合いか。
- ・ 長後のまちの活性化＝住みよいまちになっていくのか？
- ・ 狭隘道路が多く、難しい（課題が多い）。
- ・ 農業によるまちの活性化が必要である。
- ・ 歴史＝大山街道のまち。史跡散歩や長後の発見、祭りによる新旧住民の交流の場が必要である。

善行地区（テーマ：住民の活動の拠点としての市民センターの新設）

- ・ 大会議室・小ホールが欲しい。
- ・ 団体共通の自由に使えるホール（ロッカーetc)
- ・ 善行の歴史観（昔活・展示 etc)
- ・ 子育て・高齢者支援活動（保育園・交流質の設置）
- ・ 駐車場
- ・ 環境にやさしい建物（太陽光発電・コ・ジェネ）。発電・熱利用から浴場の設置も可能
- ・ 弱者のための避難場としての役割

- ・ 駅からの歩きやすい道づくり（小田急線との連携出口設置）
- ・ 地区外利用者に向けての有料化システム
- ・ 経営としての有料施設（レストラン・カフェ・貸館）
- ・ 公民館としての学習施設

遠藤地区（テーマ：今後の運営方法，自然＝環境について，環境整備がされている。）

- ・ 自然を残すことに賛同を得て，力強く思った。
- ・ 里山を中心とした街並み，それがこれからの進むみち
- ・ 災害に強いまちづくり
- ・ 小出側に観光客が大勢来ている。自然がすばらしい。

湘南大庭地区（テーマ：この地区で残したいもの）

- ・ 街路樹の保存と整備
- ・ バリアフリーの充実とバイク・自転車等の整合
- ・ 今の街並み

藤沢地区（テーマ：藤沢地区のまちづくり（新公民館（建替え後）と連動した取り組み）

- ・ 総合計画の中に公民館の建替えを入れて貰う（位置づけ）
- ・ 新公民館は藤沢高校跡地で，藤沢本町駅，商店街，伊勢山公園，市民病院等の連携（活性化！）

鵠沼地区（テーマ：風景，環境，変化，実現したいもの）

- ・ 公園は残したいが，遊びに出てくる子どもがいない。
- ・ 子どもは塾やゲームで忙しい。公園使用の規制も多く，キャッチボールなどができないことが多い。
- ・ 犯罪に巻き込まれる危険性があるので，親が外に出さない。
- ・ 安心して子どもを産める環境を。
- ・ 高齢者が，生きがいを持って，元気で過ごせる環境を。
- ・ これから 30 年後は，湘南台が藤沢の中心になるのではないかな。
- ・ 北部は，交通網が発達し，緑が少なくなり，人口は増加すると思う。
- ・ 南部（鵠沼海岸）は，海岸が狭くなり，高層ビルが立ち並ぶと思う。
- ・ 住みよいまちにするため，となり近所のふれあい，助け合いを大切にしたい。
- ・ 30 年後にはもっとふれあいがなくなり，個人志向が強まるかもしれない。
- ・ 防災面では，ふれあい，助け合いがより必要だと思う。
- ・ 30 年後は，電柱の地中化が進み，道が広くなり，緑化が進むかもしれない。
- ・ 大きな樹はいらないという意見もあり（日陰が多く，日照権を侵害するという理由）。
- ・ 30 年後は，電気自動車が主流になり，各家庭に簡単な太陽光発電が普及すると思う。
- ・ 目に見えないがなくしたいもの＝「子どものいじめ」「犯罪」「登校拒否」「親の子どもへの虐待」

片瀬地区（テーマ：自然環境）

- ・ 川が汚い。昔は泳げた。最近は少しはきれいになった。
- ・ 砂浜が小さくなっている。施設や橋などの影響
- ・ 30年後には泳げる川であって欲しい。素敵な浜辺の海であってほしい。

御所見地区（テーマ：農業、地域計画）

- ・ 農業を通して、土から野菜を育て、食卓にのぼり、口に入るまでの食育を藤沢市民に体験してもらい、理解を深めることで、「藤沢」に対する「郷土愛」を市民ひとりひとりが養うことが大切！
- ・ 農業生産法人化へ
- ・ 大型直売所（道の駅・御所見ブランド）＝雇用の場の創設
- ・ 農業を残すことで景観～環境まで保存できる。
- ・ 地域で農業をやめる方、後継者がいない農家に参画してもらって農地を集める、技術は農家、労働力は地元の若者やシニアの方、学校や病院、地元スーパーに野菜を出荷
- ・ 福祉・教育・まちづくり・観光がつながり、総合計画に値する良質の地域計画を作成する。またその基盤としての会議・組織をつくる。

湘南台地区（テーマ：「湘南台らしさ」について～湘南台の魅力や課題、個別課題等をもとに意見交換を行う）

- ・ 病院が欲しい。
- ・ 3線の乗り入れの立地が良い。
- ・ 産婦人科がない。
- ・ 高齢化が進んでいる。エスタテラの将来も同様。若い世代に来てもらいたい。
- ・ ほとんどが通勤者＝週末対策
- ・ 子ども（次世代）が帰ってこない。
- ・ 交通・防災の安全安心
- ・ 高齢者福祉・子育て福祉
- ・ 地産地消の促進…地域の産物を使ったレストラン・学校給食。県下で有数の生産量を誇る産物がある。
- ・ 駅前対策…ネオン等、産業誘致の種類（選別）、まちづくりの防犯対策、門灯の点灯補助…太陽光
- ・ 湘南台でのアンケート実施
- ・ 湘南台での犯罪…空き巣

辻堂地区（テーマ：環境（歴史・文化保存）（自然環境）、湘南（定義）

- ・ 地元の文化、歴史環境を守っていきたい。
- ・ 自分たちでは「藤沢らしさ」などといわない、外からいうのではないか。
- ・ 湘南に対するこだわりが強い。

明治地区（テーマ：明治の魅力と自慢）

- ・ 北部の緑
- ・ 若いお母さん・お父さんなど幅広い公民館利用者が多く活氣的
- ・ ニコニコスペース・耕途塾はすばらしい。
- ・ C-X のイメージが良い。

村岡地区（テーマ：環境について）

- ・ 小塚地下道から古館橋間の道路の拡幅
- ・ ごみの課題は、自治町内会未加入者のモラルが課題となっている。
- ・ 公園のごみが多いと感じる。
- ・ 近隣住民がボランティアとして集めている。
- ・ 利用者（若者？）のモラルが守られていない。
- ・ 市の条例，看板だけでは効果がない。
- ・ 新林，川名緑地が大切
- ・ 限られた緑が失われた。

領域別ワークショップ

多文化共生・男女共生（テーマ：「共生」について，多文化と異文化について）

- ・ 共通点を見つける機会があれば，友人になれる。
- ・ コミュニケーションが基本（垣根をとること）。
- ・ 接する機会が重要。生み出すためにはスポーツ等
- ・ 自分の生活が忙しくなると，共生の意識が薄くなることが課題

子育て・教育

- ・ 家庭・地域の教育力が落ち，学校で問題が起きている。
- ・ 身の周りの子どもたちがやる気がない，前向きではない。
- ・ 「誰かのために」という意識が薄い。
- ・ ユースリーダーをつくりたい。
- ・ 子供会に対する行政支援を。
- ・ 子供会は社会教育の一環。地域のかかわりを強く。
- ・ 親・子・社会の関わる場を守っていききたい。
- ・ 親子の接点が希薄
- ・ 子育てしやすいまち・藤沢…ちゃんとアプローチすれば，子供を受け入れてくれる環境はある。
- ・ 学校に芝を生やしたい。

地域コミュニティ（テーマ：コミュニティとは・コミュニティをつくるには）

- ・ 観覧車のイメージ…いくつかの論点について，あらかじめ用意し，必要になった人々が一斉にワッと乗り込める。

- ・ 情報共有は、ありとあらゆる媒介を使って
- ・ 自分の今の生活の問題とコミュニティが論じている問題がマッチしない。
- ・ 藤沢は南北に広いため、各々自慢できるポイントで集まれる「地域」づくり，ポジティブに感覚で集まる。

芸術・文化（テーマ：市内の芸術・文化のあり方）

- ・ 作品を発表する場がない。
- ・ 自分たちのまちの文化・歴史を知る機会が少ない。
- ・ 歴史・文化に基づいた観光があるべき
- ・ 生まれ育ったところを語れない。

福祉・医療

- ・ 市内の医療と福祉の資源について 市民病院は臓器別診療科制で，開設当初より運営されている数少ない病院である。
- ・ 市内の医療と福祉の資源について 医療より福祉については，特別養護老人ホームの待機者があり，解消されていない。またこれを担う家庭での介護力が低下してきている。居宅サービスをさらに充実する必要がある。

環境（テーマ：藤沢市の森林,海など）

- ・ 桜などの植林，神社・寺などの緑地保全
- ・ 湘南海岸の松林（ホームレスの問題）
- ・ 川をきれいに。

地域まちづくり

- ・ 皆さんの地域を愛する情熱が伝わり，今後の話し合いが楽しみとなった。
- ・ 他の領域に比し参加人数がおおいは，それだけ楽しみがあるということだろう。
- ・ これ以上人口が増えないようにとの意見もあった。

産業

- ・ かわせみ学園・ふじさわを知ろう
- ・ マップづくり・史跡
- ・ 東海道を歩く→藤沢が汚い？きれいにしたい！
- ・ 団塊塾・藤沢の活性化
- ・ 歳入を増やす取り組みを
- ・ 失業率 5.7%…就業率 up！
- ・ 企業誘致
- ・ 職業教育
- ・ 観光振興
- ・ マーケティング・ニーズの把握
- ・ 情報・IT・教育…

- ・ リサイクル・環境
- ・ 国際問題研究所
- ・ 企業と共に計画づくり
- ・ 地域おこし，地産地消
- ・ 観光などに特化する。

安全・安心（テーマ：街灯について・民間交番はどうですか？）

- ・ 夜が危ない。夜が暗い。夜道を明るくしよう。
- ・ パトロールの強化
- ・ 学校・保育所の近くでパトロール
- ・ 高齢者・児童生徒の行き交うところが危ない。
- ・ 小学生が危ない。子育て中の人でも自転車をとばす。
- ・ イルミネーション365。家で灯りをつけるキャンペーン
- ・ 放火が2件続けてあった。→藤沢も安全ではなくなってきた。
- ・ 民間交番は鶴沼と村岡にあるけど，もっと増やしたほうが良い。
- ・ 鶴沼では毎月パトロールを実施している。